各 位

会 社 名 株式会社 百 五 銀 行 代表者名 取締役頭取 前田 肇 (コード番号 8368 東証第1部 名証第1部) 問合せ先 企画グループマネージャー 伊藤歳恭 (TEL 059-227-2151)

( 4 本 )

## 四半期情報の開示について

当行の平成 15 年 3 月期第 1 四半期(平成 14 年 4 月 1 日から平成 14 年 6 月 30 日)における四半期情報について、お知らせします。

以下に掲げる四半期情報は、経済対策閣僚会議「改革先行プログラム」及び金融庁「証券市場の構造改革プログラム」の趣旨等を踏まえ、当四半期から任意の会社情報として開示するものです。

(注)以下に記載する第1四半期の数値は、公認会計士又は監査法人の監査は受けておりません。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

(単位:億円)

(参与)	(単位:1息円)
平成 14 4	年3月末(実績)
	288
	398
	007

(畄位・倍田)

- (十年:1813)

   平成 14 年6月末

   破産更生債権及びこれらに準ずる債権
   288

   危
   険
   債
   権
   392

   要
   管
   理
   債
   位
   293
- (注)上記の平成14年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しておりますが、集計方法については以下の点につき年度末に開示する計数とは異なるため、計数は連続しておりません。
  - 1. 平成 14 年6月末の「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」の金額は、同年3月末における 債務者区分をベースとし、同4月から6月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに行内格付の引下げ 等があった債務者について、当行の定める自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行った結果に基づ き平成 14 年6月末時点の残高を記載しております。
  - 2. 平成 14 年6月末の「要管理債権」の金額は、同年3月末における「要管理債権」のうち、同4月から6月末の間に「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」に変更になった債権を除き、新たに3カ月以上延滞となった債権及び新たに貸出条件を緩和したことを確認している債権を加えた結果に基づき平成 14 年6月末時点の残高を記載しております。
  - (参考) 自己査定債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権(破綻先、実質破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権(要注意先のうち、元金又は利息の支払が3カ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

2. 自己資本比率(国内基準)

 連結目
 音
 本
 比率
 8.8 %程度

 連結Tierl
 下
 工
 上
 平成 14 年9月末(予想値)

 7.9 %程度
 7.9 %程度

(参考)

平成 14 年3月末(実績)	
8.81 %	
7.98 %	

(注)上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

#### 3. 時価のある有価証券の評価差額(単体)

式

券

他

その他有価証券

株

(単位:億円)						
平成 14 年6月末						
評価差額						
うち益うち損						
720	750	29				
464	479	15				
249	250	0				

(単位:億円) (参考)

	平成 14 年3月末				
時	価	評価差額			
			うち益	うち損	
10,	560	745	776	31	
1,	034	497	509	12	
7,	310	249	251	1	
2,	214	$\triangle$ 1	15	17	

(注)1. 平成 14 年6月末の「評価差額」及び「含み損益」は、平成 14 年6月末時点の帳簿価額(償却原価法適用前、 減損処理前。)と時価との差額を計上しております。

20

- 2. 有価証券のほか、商品ファンドも含めております。
- 3. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

W /L	,	ا جائه	$\overline{}$	١	
単位	٠1	Ħ	щ	)	

13

(参考)

(単位:億円)

	平成 14 年6月末				
	帳	簿	含み損益		
	価	額		うち益	うち損
満期保有目的の債券		129	1	1	0

価

10,719

1,000

7,334

2,383

	- /				
平成 14 年3月末					
帳	簿	含み損益			
価	額		うち益	うち損	
	209	1	2	0	

#### 4. デリバティブ取引(単体)

### (1) 金利関連取引

(単位:億円)

(	参	考	)
٠,		,	/

(単位:億円)

区			平成 14 年6月末				
分	種	類	契約額等	時価	評価損益		
店頭	金利スワ	ップ	29	0	0		
	合	計			0		

( > 1)		,	(T-12-1/2-17)		
平成 14 年3月末					
契約額等	時	価	評価損益		
29		0	0		
			0		
ナンルナーナ					

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

# (2) 通貨関連取引

(単位:億円)

(参考)

(単位:億円)

				(十四,12)
区		7	乙成 14 年6月 元	末
分	種類	契約額等	時 価	評価損益
店頭	通貨スワップ	118	0	0
	合 計			0

平成 14 年3月末					
契約額等	時	価	評価損益		
12		0	0		
			0		

- (注)1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引及び下記注2. の取引は、上記記載から除いております。
  - 2. 期間損益計算を行っている通貨スワップ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

(単位・億円)

(杂类)

(光片, 连田)

					(単位:1息円)
		平成 14 年6月末			
種類	į	契約額等	時	価	評価損益
通貨スワッフ	0	321		22	22

(参与)			(甲位:18円)		
平成 14 年3月末					
契約額等	時	価	評価損益		
547	Δ	20	△ 20		

また、先物為替予約、通貨オプション等のうち、引き直しを行っている通貨関連のデリバティブ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

(単位:億円)

							(+1	工•   忠  .	1/
区	呑		<b>松</b> 云	平成 14 年6月末					
分	種			類	契	約	額	等	
店	¥.	<b>本</b> 本	予	фh				000	
頭	為	替	丁	約				822	

(参考)	l	(単位	江:億円	)
4	☑成 14	年3月	末	
契	約	額	等	
			695	

- (3) 株式関連取引 該当ありません。
- (4) 債券関連取引 該当ありません。
- (5) 商品関連取引 該当ありません。
- (6) クレジットデリバティブ取引

(単位:億円)

					(単位:個	円)	
X		平成 14 年6月末					
分	種類	契約額等	時	価	評価損	益	
店頭	クレシ`ット・テ`フォルト・ オ フ゜ シ ョ ン	30	Δ	0	Δ	0	
	合 計				Δ	0	

(参考)			(単位:億	円)
7	乙成 14 年	=3月ラ	₹	
契約額等	時	価	評価損	益
30	$\triangle$	0	Δ	0
			Δ	0

- (注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。
- 5. 預金等・貸出金の残高(単体)

(単位:億円)

	平成14年6月末
預金等(末残)	33,719
貸出金(末残)	20,247

(注)預金等=預金+譲渡性預金

(参考)

(9/7)	
平成 14 年3月末	
32,94	15
20,08	58

(単位:億円)

平成 13 年6月末
31,599
19,101

以 上